

製品名: GASP-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11305**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GPRASP1
別名	GPRASP1; GASP; KIAA0443; G-protein coupled receptor-associated sorting protein 1; GASP-1
遺伝子 ID	9737.0
SwissProt ID	Q5JY77
免疫原	抗血清はヒト GASP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 741-790

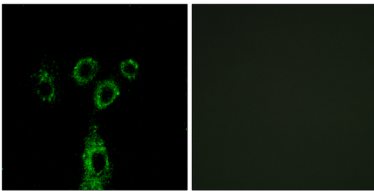
背景

この遺伝子は、GPRASP (G タンパク質共役受容体関連選別タンパク質) ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質

は、リソソームへの選別と、様々な G タンパク質共役受容体の機能的ダウンレギュレーションを調節する可能性があります。リソソーム内で分解される受容体を標的とします。この選別タンパク質と相互作用する受容体には、D2 ドーパミン受容体 (DRD2)、 δ オピオイド受容体 (OPRD1)、 β 2 アドレナリン受容体 (ADRB2)、D4 ドーパミン受容体 (DRD4)、およびカンナビノイド 1 受容体 (CB1R) などがあります。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2010 年 5 月]、機能: リソソームへの選別と、様々な G タンパク質共役受容体の機能的ダウンレギュレーションを調節する可能性があります。リソソームにおける分解のために受容体を標的とする。類似性: GPRASP ファミリーに属する。サブユニット: D2 ドーパミン受容体/DRD2 (類似性による)、 δ オピオイド受容体/OPRD1、 β 2 アドレナリン受容体/ADRB2、D4 ドーパミン受容体/DRD4 など、様々な G タンパク質共役受容体の細胞質末端と相互作用する。PER1 とも相互作用する。組織特異性: 脳で発現し、髄質、脊髄、黒質では発現が低い。

研究分野

画像データ



GASP1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。